

モンゴル国からの活動報告 7 助産師の指導者養成研修の開発と実施

池本めぐみ

国立国際医療研究センター 国際医療協力局 助産師

はじめに

私は、独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency：JICA）の技術協力プロジェクト「医師及び看護師の卒後研修強化プロジェクト」の長期専門家として国立国際医療研究センター国際医療協力局からモンゴル国に派遣されています。

今回は、助産師の卒後研修の強化の活動のひとつである「助産師の指導者養成研修」の開発と実施についてご報告させていただきます。

1. 背景

2022年4月に発令されたモンゴル国保健大臣令A231号令は、助産師の卒後研修を強化するために「助産師の指導者養成研修の開発と実施」「助産師の卒後研修ガイドラインの作成」を目的としています。

モンゴル国の助産師らにとって「助産師が助産師を指導する」ということが卒前教育および卒後教育で目指しているとても大きな夢です。

助産師の教育は、2003年から大学教育を開始していますが、ほとんどの教員が産婦人科医です。大学院教育については、2019年から修士課程が、2022年から博士課程が開始されています。助産師の教員が大学で教員となり、助産学生に教育できるようになるためには、助産師の修士などの学位が求められます。その移行期間には、助産師の教員には、臨床の経験などを要件とするなどの工夫が必要であるかもしれません。

卒後研修においては、助産師に特化した研修はほとんどなく、助産師が受講する研修は、医師や看護分野の研修を受講する、もしくは、卒後研修の機会がないというような状況です。このような中で、

「助産師の指導者養成研修」が保健大臣令で命ぜられるということは、とても大きな変化です。

2. 助産師の指導者養成研修の準備

助産師の指導者養成研修は、JICAの「一次及び二次レベル医療施設従事者のための卒後研修強化プロジェクト（2015～2020年）」で開発、実施している「医師の指導者養成研修」および「看護師の指導者養成研修」の基礎のコンテンツを用いて、助産師に特化した講義内容を加えた3日間で構成された研修です。研修の対象は、臨床経験が5年以上等の助産師です。研修では、患者と医療従事者の関係、研修ニーズの把握と分析、その方法論としてのKJ法とその演習、On-the-Job Training（OJT）の目的、目標とゴールその設定、評価方法、コーチングやフィードバックなどを講義に加えて演習を通して学びます。「背中を見て学ぶ」「講義として教える」という指導方法ではなく、臨床現場の助産師らの精神にも配慮し、人としての教える姿勢やフィードバックの仕方などが含まれています。

この研修の講師は、指導者養成研修を受講した後に「ファシリテーター養成研修」を修了し、国に登録されている人が務めることになっています。2019～2021年に開催された看護師の指導者養成研修では、11名の助産師が研修を受講しました。そのうちの3名の助産師が2021年にファシリテーター養成研修を修了し、ファシリテーターとして国に登録されています。このファシリテーターの国立第一産科病院の副看護部長Ulambayar氏、国立第一母子保健センターの副看護部長Munkhuu氏、病棟師長Nasantogtokh氏が中心となり、プロジェクトと協働し、助産師に特化した講義資料の作成、医師や看護師の指導者養成研修の見学と支援（写真1）、担当する講義の練習

等をして研修を準備しました。



(写真1) 医師の研修を支援する助産師のファシリテーター

3. 研修の実施

2022年8月29～31日の3日間、モンゴル国で初の助産師の指導者養成研修が実施されました。指導者養成研修のベテランのファシリテーターであるBatgerel医師のご指導の下、Ulambayar氏が中心的な役割を果たし、Munkhuu氏、Nasantogtokh氏とともに研修を実施し（写真2）、24名の助産師の指導者が誕生しました（写真3）。

日本からは、福岡女学院看護大学の副学長の谷口初美先生に「ICM Professional Framework for Midwifery～これからの助産師にもとめられる専門性～」をオンラインでご講演いただきました（写真4）。谷口先生のご講演は、指導者として活躍していくモンゴル国の助産師らにとって「助産師の専門性」「モンゴル国の助産師の将来の方向性」などを考える貴重な機会となりました。また、モンゴル助産師会のDavaasuren会長は、「助産師が助産師を指導する研修が開始された今日は、モンゴル国の助産師にとって歴史的な日である」と話されました。これからは、誕生した24名の助産師の指導者が所属機関で活躍するだけでなく、今後のモンゴル国の助産サービスや助産師を取り巻くさまざまな状況をよりよくする大切な24名であると思います。

おわりに

助産師のファシリテーターの皆様、ご指導をくださった先生方、サポートしアドバイスしてくださっ



(写真2) 研修の様子



(写真3) 24名の助産師とファシリテーターら



(写真4) 谷口先生のご講義の様子

た助産師の皆様、すべての関係者の方で大きな夢をひとつ実現することができました。また、お忙しい中、オンラインでご講義くださいました谷口初美先生に深く感謝申し上げます。先生の明るさと力強さは、しっかりと助産師の胸に届いておりました。今後も、よりよい研修、よりよい卒後研修を目指していきたいと思います。

最後になりましたが、モンゴル国の助産師の関係者および日本からご支援ご指導いただいている皆様に深く感謝申し上げます。